

京都市電 1形 <N電>

1905年から1918年頃にかけて製造された2軸オープンデッキのポールカー

京都市電北野線の車輦、俗にN電の名でたしまれた電車

N電と呼ぶのは、同線の軌間が他の一般路線より狭い1067mmを採用したため、ナンバーの前にNの字をつけていたからである

N電 それは古都にふさわしいオールドファッションの市電として1961年まで活躍を続けた

図はその最後の務めにはげんでいた頃の姿である

京都大学鉄道研究会の青図を基本とし、その一部の修正を行うと共に、細部は現車を調査した資料によって作図した

各車とも細部には多少の相違があり、特定のナン

